

動物における新型コロナウイルス感染症について

令和2年10月2日
消費・安全局動物衛生課

動物における新型コロナウイルス感染症について

1 動物における新型コロナウイルス感染症について

- ヒトにおけるパンデミックはヒト-ヒト感染によるものであり、動物の感染が人における感染拡大を引き起こしているわけではない。
- 世界各国で、**犬、猫、トラ、ライオン、ミンク**において、感染者との濃厚接触が原因とみられる陽性事例が報告されている(我が国においては、犬の陽性事例の報告がある)が、**愛玩動物がヒトにおける感染拡大を引き起こしているわけではない**。
また、ミンクの事例(オランダ)では、ヒトからの感染によりミンクの間で感染が拡大し、さらに、感染したミンクから農場従業員への感染の可能性が報告されている。
- 牛・豚・家きんのような代表的な家畜における感染事例は報告されていない。また、感染実験により、家きん、豚は感受性を示さないことが示唆されている。
- 感染者や感染が疑われる人は、愛玩動物やその他の動物との濃厚接触を避けることが推奨。

<動物における新型コロナウイルス陽性事例> (OIE発表)

香港(犬、猫)、ベルギー(猫)、米国(ライオン、トラ、猫、犬、ミンク)、オランダ(ミンク)、フランス(猫)、スペイン(猫、ミンク)、ドイツ(猫)、ロシア(猫)、デンマーク(ミンク)、英国(猫)、日本(犬)

(令和2年9月28日時点)

コロナウイルスについて

- ・ウイルスの表面に突起があり王冠に似ていることから、ギリシャ語で王冠を意味する「コロナ」と名付けられた。
- ・コロナウイルスの中には、動物と人の間で伝搬するものがあるが、多くのコロナウイルスはそうではない。
- ・動物から人に感染するコロナウイルス感染症には、中東呼吸器症候群(MERS)や重症急性呼吸器症候群(SARS)が知られている。



(写真:新型コロナウイルス(OIEウェブサイトより))

2 感染源の特定及び動物における感染拡大防止に向けた国際機関の動向

- 現在、キクガシラコウモリ(馬蹄コウモリ)が保有するウイルスと近縁であることが判明しているが、**感染源や感染経路等を特定するためには更なる調査が必要**。
- ワンヘルスアプローチに基づき、**国際獣疫事務局(OIE)をはじめ、世界保健機関(WHO)、国連食糧農業機関(FAO)、専門家等が密に連携して最新の情報の収集や共有を行い、感染源や感染経路の特定等を協力して実施**。
- OIEは、動物における新型コロナウイルス感染に関する科学的知見の収集や分析、科学的助言を行うほか、**新型コロナウイルス感染症の特設ページを開設し、Q&Aや専門家会合の概要、ガイダンス等を公表**。
- 動物衛生に関する国際基準に基づき、各国の動物衛生当局は、動物の感染事例を速やかにOIEに報告することが求められており、**OIEは、各国からの報告をウェブサイトに掲載して情報共有を図っている**。

